

2021年1月13日
日興アセットマネジメント株式会社

「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」 分配金のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」は、2021年1月12日に決算を行ないました。

本資料では、当期の分配金についてご報告するとともに、マザーファンドの運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドのコメントをご紹介します。

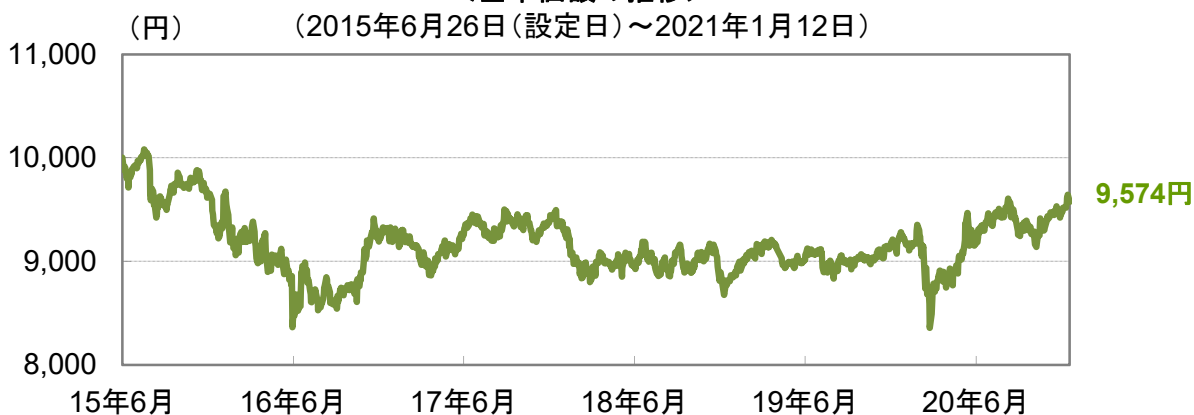
当期の分配金と設定来の基準価額推移



<当期の分配金>

分配金 (税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(1万口当たり) 2021年1月12日現在	9,574円

<基準価額の推移>



※ 基準価額は信託報酬(年率1.364%(税抜1.24%))控除後の1万口当たりの値です。

今後の分配金額につきましても、引き続き、収益分配方針に基づいて決定してまいります。
今後も、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
■ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

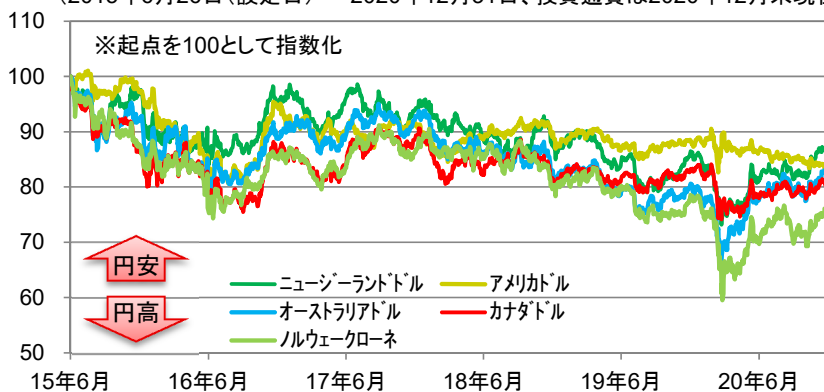
当期の運用概況について (2020年7月11日～2021年1月12日)



- 当期(2020年7月11日～2021年1月12日)の金融市場では、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念などが金利の低下(債券価格は上昇)要因となったものの、各国経済指標の改善や、ワクチンの開発進展・欧米での接種開始などから、長期金利は概ね上昇(債券価格は下落)基調となりました。
- 資源国であるカナダとノルウェーは、世界の景気回復に伴って上昇した原油価格の恩恵を受けたものの、カナダでは10月以降、新型コロナウイルスの感染再拡大から、再び経済活動が制限されました。一方、ノルウェーについては、感染が相対的に抑制されていたことや、同国通貨に堅調なユーロとの近似性が期待できたことなどから、11月にカナダドルの投資比率を引き下げ、ノルウェークローネの比率を引き上げました。
- 11月初めからは、イギリスでも感染の再拡大がみられたほか、EU(欧州連合)離脱を巡る移行期間の終了を年末に控え、同国経済の不透明感が高まったことから、英ポンド建て債券を売却しました。一方、オーストラリアでは、10月末に感染の第2波が沈静化して以降、経済が堅調なペースで回復していたことから、新たに豪ドル建て債券を組み入れました。豪ドルには、資源国通貨としての強みや、相対的に金利水準の高い先進国通貨としての魅力があるほか、堅調な中国経済などが追い風になるとみえています。
- ニュージーランドでは、引き続き感染が抑制されていることから、経済活動に対する規制はほぼ全て解除されており、好調な中国経済の恩恵も相まって、ニュージーランドドルは堅調に推移しています。
- 米国では、それまでの大幅な利下げで金利水準の魅力が低下したほか、投資家心理の急速な回復から米ドルは軟調に推移しました。また、11月の米大統領選挙に対する不確実性も通貨の相対的な弱さにつながったとみられます。なお、新型コロナウイルスの感染収束が見通せない中、FRB(連邦準備制度理事会)は今後も緩和的な金融政策を続けると見込まれ、債券市場の下支えになると考えられます。
- 各国でワクチン接種が進むにつれ、経済や商品需要が回復するとみられ、今後数四半期は引き続き市場感応度の高い資源国通貨が選好されると見込まれます。なお、経済活動の正常化は金利の上昇につながる可能性があります。ワクチン接種が世界規模で普及するまでの当面、金利上昇は抑制されるとみえています。債券市場では、主要国・地域の中央銀行による大規模な債券買い入れが市場を支えると思込まれます。

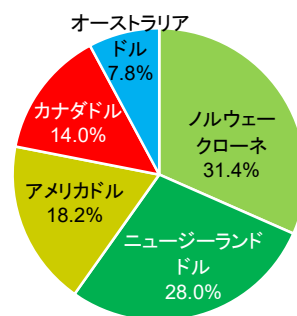
<投資通貨(対円レート)の推移>

(2015年6月26日(設定日)～2020年12月31日、投資通貨は2020年12月末現在)



<実質通貨別投資比率>

(2020年12月末現在)



※ 上記は当ファンドの対純資産総額の比率です。比率にはその他があるため100%とならないことがあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「高金利先進国債券マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方針あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが「高金利先進国債券ファンド(早期償還条項付)／愛称:オリーブ」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。